

拾って、描いて、
海ごみを減らそう！

みんなの うみご^{みい}me コンテスト 2026

拾っても、拾っても、なかなか減らない海ごみ。海ごみのおよそ8割が、街で発生したプラスチックごみ等が河川を伝って海に流出したものだと言われています。その裏側には「ごみ」自体を生み出してしまっている私たちの社会で何が起きているのか、私たち自身がそこに向き合えていないという現実があります。

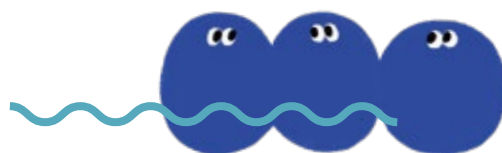
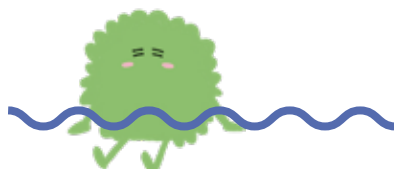
『うみごme』は、身近に落ちているごみからみえてくる私たちの誰しもがもつごみにつながる気持ちを可視化することで、海ごみを生み出している社会に向き合うためのプロジェクトです。

あなたの中にもある『うみごme』。この機会にぜひ、作品として形にしてみてください。

応募期間 >>>

2026.6.1 月曜日

– 2027.2.1 月曜日



「2050年の海では、魚よりもごみのほうが多くなるかもしれない*」。

こんな話を聞いたことはありますか？

海のごみの中で、とくに問題になっているのがプラスチックごみです。プラスチックはとても軽く、風でとばされやすいのが特徴で、分解されるまでに長い時間がかかります。海のごみの半分以上がプラスチックだと言われており、毎年、2~6万トン日本から出たものだと考えられています*。海をただようごみは、魚やウミガメ、海鳥など、たくさんの生きものをきずつけ、そして、その影響は少しずつ私たちの暮らしにも近づいてきているのです。

では、川や浜、海にあるごみは、いったいどこから来るのでしょうか？

実は、その8割以上は、街で捨てられたごみが雨や水といっしょに流れ、川を通して海まで来たものだと言われています*。

つまり、海のごみの問題は、街のごみの問題なのです。



街に落ちているごみをよく見てみると、こんな声が聞こえてきます。

「風でとばされちゃった」「歩いていたら、ポケットから落ちちゃった」「近くにごみ箱がなかったんだ」…。

そんな、私たちがついついしてしまう無自覚な行動や気持ちをキャラクターにしたのが「うみごme(みい)」です。落ちているごみを調べていくと、15種類のごみにつながる気持ちがあることが分かってきました(右図)。そして、その数は増え続けています。

このコンテストではそれぞれの「うみごme」を募集しています。毎日の暮らしをふり返りながら、色や形、名前など、あなたが感じたことを表現してください。絵が上手かどうかは関係ありません。大切なのは、海ごみ問題を「自分の問題」にすること。

その一歩を、いっしょにふみ出しませんか？

*参考：日本財団WEBサイト 日本財団ジャーナル「増え続ける海洋ごみ」特集記事より

- 応募期間** 2026年6月1日(月)から2027年2月1日(月)
- 対象** 大人も子どももOK!
- 応募方法** 本応募用紙を使用し、WEBフォームより応募
- 賞(予定)** みんなのうみごme大賞…1点
(副賞：海の未来につながるプレゼント1万円分を予定(調整中))
特別賞…1-3点
- 公表方法** 後日WEBページにて受賞作品を掲示。
ご応募いただいた方にはメールにてご連絡します(2027年3月中を予定)
- 注意事項** 応募フォーム記載の注意事項をご確認の上、ご応募ください

※2026年5月時点での情報になります(副賞などは随時更新の予定)



参加方法

過去の作品例



STEP 1 身近なごみをひろう



まずは、道ばたや公園、海辺や川辺など、日常の中で見つけた身近なごみをひろってみましょう。どんな場所に、どんなごみが落ちていたのかを観察することが大切です。(水辺に行くときには大人と一緒にいきましょう)

STEP 2 ごみを捨てた人の気持ちで分類する



次に、そのごみを「なぜ捨てられたのか」という視点で見つめます。面倒だった、つい忘れた、急いでいたなど、ごみを捨てた人の気持ちになって想像し、感情や行動の理由ごとに以下の「うみごme」で分類してみましょう。

拾ったうみごmeにチェックをつけよう!

「うみごme」をもっと知る



ごみ箱からあふれてる
つめごみごみ



さくっと食べて捨てていく
サクめしごみ



コーヒー、タバコ、おかしまで
ごほうびごみ



ごみのあるところに集まる
ひきよせられごみ



看板も三角コーンもごみになる
うっかりごみ



あれ?カサ、どこいった?
雨の日ごみ



みんなですてればこわくない
むれごみ



ごみ箱が見つからない
買わせっぱなしごみ



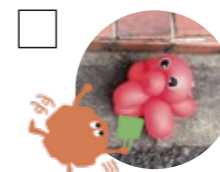
草がげにひそむ
かくしごみ



え?分解されないの?
土にかえる?ごみ



知らないつもりで言い逃れ
おとぼけごみ



気づいたときにはもうおそい
落とし物ごみ



待ってる間に出てきちゃう
まちぼうけごみ



お供物のそのさき
おいのりごみ



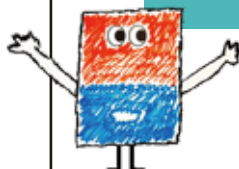
人工芝やタイヤもなんて!
知らずごみ

STEP 3 自分のくらしをふりかえる



最後に、自分のくらしをふりかえてみましょう。つつい使いすぎているものは？減らせるものは？気づかないうちにごみになっているものは？お別れできそうな自分に思い当たる「ごみにつながる気持ち」を自由に描いてください。上手に描く必要はありません。気づきをかたちにしてみましょう。

応募用紙
はこちら



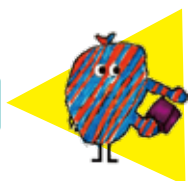
他の作品例を
チェック！



描くときのコツ

- ・鉛筆よりペンがオススメ
- ・クレヨン、カラーペンなどで色付けするとカラフル！

撮影のポイント



- ・枠がうつるようにとろう
- ・明るい場所でとろう
- ・余計なものはどかさう（消しごむのカスなど）
- ・タテ向きにとろう
- ・影が落ちないように注意しよう

わたし
私がサヨナラするのは

ごみ



どんなごみ？

どうやってお別れする？

あなたの年齢

あなたが住んでいる都道府県

STEP 4 応募して、共有する



描いたうみご me をみんなで共有しましょう。あなたの気づきが誰かの行動や意識をかえることにつながるかもしれません。WEBフォームからのご応募、お待ちしております！

応募フォーム



企業・団体パートナー
チラシ配布協力サポーター
募集中です！

海ごみへの関心を育み、抑制につなげる本コンテストの開催を支えてくださる企業・団体・個人の皆さまを募集しております。

未来をつくるパートナーとして、共に歩んでいただけないでしょうか。支援メニューをWEBページに掲載しております。ご連絡お待ちしております！

お問い合わせ：イシュープラスデザイン info@issueplusdesign.jp (担当：白木)